

山手線内側の回復期リハの担い手

⑫⑧ 原宿リハビリテーション病院 (東京都渋谷区)



山手線沿いの緑豊かな丘の上に建つ

福 岡山発祥の医療法人グループ「カマチグループ」(蒲池真澄会長)に属する一般社団法人「巨樹の会」は、関東地方で回復期リハビリテーション病床が不足している点に着目し、2006年から首都圏を中心に回復期リハビリ病院を積極的に展開している。

JR山手線内側の回復期病床が200床程度しかなく、急性期で治療した患者の行き先が不足している中、原宿リハビリテーション病院は4月、JR原宿駅近くに開院した。病院長は、慶應義塾大学病院心臓血管外科で「心臓手術のゴッドハンド」と

呼ばれた名誉教授の四津良平氏。365日のリハビリを提供するため、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士を充実させている。

同病院は、巨樹の会では関東地方で12番目、都内で4番目の病院。地上11階、地下2階、病床数303床(153床は差額室料無料)の規模は、リハビリ特化型病院としては日本最大級だ。

事務長の白木雅彦氏は「4月にオープンし、5月末には満床になりました」と話す。

代々木公園を望む小高い丘に建つ同病院の建物は、元キンビール原宿本社ビル。オフィスビル



丁寧な対応が印象的な受付



自動演奏のグランドピアノが迎えてくれる喫茶コーナー



ロケーション抜群の特別室



オープンな造りのスタッフルーム



リハビリ室には介護用ロボットスーツ「HAL」が複数置かれている



広々としたダイニングは患者や家族の憩いの場だ

だったことを感じさせないデザインだ。リニューアルを担当した平建築設計事務所の平憲治代表は「安全でリハビリに適した療養空間の提供と、上質で温かみのある空間の創造を目指しました。外観も古さを感じさせないように意匠に努めました」と語る。

病棟でまず目に付くのが、スタッフルームの向かいの壁に設置された大型液晶モニター。ここには、フロアごとに入院する患者の当日のリハビリスケジュールが20分刻みで表示されている。患者だけでなく、スタッフ全員が当日の予定を確認できる。

巨樹の会のグループ回復期リハ病院は、患者一人当たり専門のリハビリ療法士によるマンツーマンのリハビリを1日180分間提供することを目標としている。13年のグループ平均実績は全国平均の102分に対して168分、また在宅復帰率は全国平均の70.5%に対して87%と大幅に上回っている。

原宿リハビリテーション病院も先行するグループ病院に追い付くように着実に歩み始めた。近隣の基幹病院との間の連携ネットワークも徐々に構築している。都心のリハビリを担う「巨樹」になるべく「根」は広がりつつある。